

## 清水町シニアクラブ連合会

○総人口 31,989人      ○65歳以上人口 8,346人      ○高齢化率 26.1%  
○シニアクラブ会員数 1,098人      ○シニアクラブ加入率 13.2%

### ～清水町シニアクラブ連合会～ 《概況》

#### ○会員加入促進運動

##### (1) アンケートの実施

会員加入促進の問題は、当連合会にとって緊急の課題であり、その打開策として加入促進の阻害要因の把握が第一と考え、単位クラブ会長あてにアンケート調査を実施した。

回答には次のような注目すべきものがあった。

※アンケートに対する回答の際、口頭で述べられた内容も含む

- ・就労者の増加や就労年齢の高齢化
- ・役員にさせられると困る
- ・シニアクラブは何をしたらいいのかわからない
- ・勧誘の際の説明資料がない
- ・説明に来てほしい

などで、特に「シニアクラブの内容がわからない」ということは、勧誘の際、説明できないことにつながり、勧誘側のクラブ活動に対する認識不足が極めて高いと思われた。

当初、広報誌の作成を予定していたが、急遽、会員の教育用資料の作成に切り替え、会員全員に手持ち資料として配布することにした。

この資料は、興味を引くように、イラストを入れ、長期間保存・使用に耐えられるよう配慮した。

##### (2) 報告書の作成

従来、報告は口頭だけのやり取りで終了してしまい書面化することはなかった。そのため、やってもやらなくても同じという感覚が働いた。

会員が誰かにアプローチしたことを書面で共有することで、声掛けの実施が示され、別の方の誘いも可能となる。こういった利点を考え報告書を作成することとした。

### 《成果》

現在、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、集会等の開催ができず、実際の加入者増の成果は出ていないが、今後の活動の基礎が出来上がり、これからの会員加入促進に期待がもたれる。

##### (1) アンケート調査の実施

- ・アンケート調査を行ったことで、加入促進運動に対する阻害要因について、会員が率直に述べることで、この運動事業の原点に立ち戻ることができた。

- ・会員用のリーフレットには、シニアクラブがなぜ公的な補助金の対象団体となっているかなども、説明してあります。これは、シニアクラブが他の団体より公的に恵まれた組織であり、その恩恵を多くの高齢者に配分すべき優位な立場にあるということを知っていただくことにつながった。
- ・「一人がひとりを」の言葉は、長年実施されてきた、会員加入運動の中で使われてきた言葉で“またか”という感覚しか与えず、いわゆる「暖簾に腕押し」的なものであったが、アンケートの結果を踏まえて作成したリーフレットの中に会員にとってクラブ活動に対する強い意識付けとなる内容を盛り込むことができたと思う。

(2) 報告書の作成

報告書を作成することで、アプローチをかけた対象者が明確になり、多方面からのアプローチが可能となり、単位クラブの会長、加入促進委員の認識強化に役立った。

(3) 本部役員指導

基礎的な準備により、コロナ禍が収束し、活動が再開される状況となれば、直ちに本部役員による巡回指導が実施できる環境が整った。

## 《今後の方針》

会員加入促進は、シニアクラブにとって永遠のテーマであり、当初、計画した次の点を実行していく。

(1) 会員に対する教育の徹底

アンケート調査により、会員のクラブ活動に対する理解不足が深刻な状況にあることが判明。本部役員により各单位クラブを巡回し、リーフレットを使った教育を徹底する。

その際、地域にある独自の問題点などを把握し、解決策を協議し指導していく。

(2) 報告書の点検

各会員が実施した加入促進運動の対象者は、会員候補であり今後の働きかけが必要な方です。加入促進運動の状況は書類として残し、その作成状況等を点検し、加入促進運動に繋げていきたい。

【活動の様子】

## 清水町シニアクラブ連合会

# “一人がひとりを”



# 仲間に



# 誘いましょう

会員が減少しています。

現在の会員数は、1,098人で、高齢者人口の13%にすぎません。

さらに、80歳以上の高齢者が全体の57%を占めて、組織はまさに危機的状況にあります。ここで、会員の皆様が気持ちを一つにして会員の勧誘に努めていただくようお願いいたします。

私たちのシニアクラブが、恵まれた魅力のある組織であり、活動の内容も豊富であることを再認識していただきたいと思いこの資料をまとめました。

皆さま方には「分かりきったことを今さら」と思われるかもしれませんが、誘いに当たって言葉になかなか出てこないものです。誘いの材料として活用していただければ幸いです。



# シニアクラブとは

各区に対応して地区のクラブがあり、公民館を中心に活動しています。  
事務所は会長宅です。



地区クラブが基本で、各市町、県、全国の各段階にそれぞれ連合会の組織  
があります。私たちのクラブは清水町シニアクラブ連合会です。

会費は、年間 1,000 円の会費を地区クラブへ納入します。

役場から連合会に対し補助金が交付されます。

これを地区クラブに対し分配をしています。地区クラブには、区からも助成金  
があるので、活動資金は、会費 + 町助成金 + 区補助金となります。

連合会は、福祉センターを中心に活動し、町補助金で運用しています。



## 組織のできた根拠と補助金が出る理由

昭和 38 年に老人福祉法が制定されました。「組織ができ、補助金が出る根拠」は、  
この法律です。同時に法律の施行を具体的にするため、厚生労働省から通達が出され  
ました。

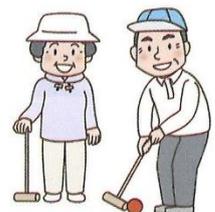
行政の育成方針のもとに、クラブの活動に対し補助金交付があるのです。

法 「地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図る  
とともに、クラブその他当該事業を行うものに対して、適当な援助をするよう  
に努めなければならない」。

法律の条項をもとに、国では「老人クラブ活動事業実施要綱」（通達）を定め、  
県や各市町を通して、シニアクラブに対して公的な補助（補助金も含め）を  
行っている。



**大変恵まれた組織であることが分かります。  
この恩恵は、多くの高齢者に  
配分する必要があります。**



## 友愛活動は相互扶助を基本に行っています

各地区クラブを単位に友愛活動を実施しています。会長さんが友愛活動員として役員全員を任命しています。

友愛活動員のうち2人を友愛訪問員に指名して訪問活動に当たらせています。

友愛活動は会員同士がお互いに助け合って生活するということを基本にしています。

日常生活の中での見守りが主な役目で、お互いが見守り、声を掛け合って元気確認をしています。

高齢者が  
相互に支え合う  
友愛活動



はっらっとした  
クラブづくり



高齢者のより良い生活を進めていくために地区クラブの会長さんと語り合い、新しい時代の知識を培っています。

パソコン、スマホ教室を開いて、時代に遅れない配慮もしています。

**シニアクラブの必要性を会員一人一人が自覚し、  
地域社会から親しまれるクラブを作り、  
「地域の絆」の一翼を担いましょう。**



## 「一人がひとり」の意識を強くもってください

- 各人が会員の誘いに強い意識をもってください。
- 一つの情報を得たら仲間とともに対応してください。
- 数人の知識を活用することが大切です。

### 「一人がひとり」の意図は

- 配偶者や身近な方が未加入の場合に加入を勧めることから始まりました。
- 一人がひとりを勧誘するのが基本ですが、知識の豊富な仲間と対応するとよいでしょう。
- みんなが強い意識をもって行動することが必要です。

あなたの参加で  
楽しいクラブづくり



## 会員の若返りを図ってください

「若い人と交流がない」「年代が違う」「趣味が違う」

初めから避けているのではないのでしょうか？

個人情報問題も厳しさを増しています。

自分より若い人の存在は、分からないのが普通です。

身近なところから順次、輪を広げて若返らせることが必要です。

若い仲間がいたら情報を入れてもらうようにしましょう。

趣味の面から若い人の情報を得るようにしましょう。

伝手を求める努力が必要です。



## 活動の内容

スポーツ各種の大会で健康活動を進めています

### 心とからだの健康づくり



- 高齢者に適したスポーツを普及し体力の維持と健康の増進に努めています。
- 連合会ではスポーツ大会、グランドゴルフやペタンク輪投げ、ペタボードなど軽スポーツの大会を行っています。
- 地区でも体操をはじめ、グランドゴルフや輪投げ、ペタボードなどをやって連合会の大会に備えています。

趣味の会は、16部が月2回それぞれ福祉センターで活発に活動しています

- 趣味の会は、民謡、踊り、手芸、着物リフォームなどの活動をはじめとして、囲碁将棋、伝承遊び、俳句、古典を学ぶなど多彩な活動を実施しています。
- 日頃の成果を文化祭で披露しています。新春演芸会も開催しています。
- 趣味の会で実施している手芸や着物リフォームの作品、個人の趣味でやっている写真、絵画などは、地域交流センターで展示し一般公開しています。
- 時には、仲間が集まり軽食やゲームを楽しむサロン活動もやっています。
- 遊び心を仲間ではぐくみ、親睦旅行や研修旅行を行って視野を広め、仲間同士のつながりを深めています。
- 地区のクラブでも公民館や公園などで趣味の会活動を行っています。

### 生活と地域を豊にする 楽しいクラブ活動



## 社会奉仕活動も積極的に行っています

「社会奉仕の日」クラブ全体で小学校校庭の  
草取り清掃を児童とともにしています。

### 安全・安心・美しい街を 次の世代につなげる活動



- 明るく住みよい街づくりのため、社会奉仕活動に取り組んでいます。
- 地区のクラブが主体となってそれぞれの地域の神社の清掃活動を行っています。
- 花壇づくりや花づくりにも参加しています。
- 学校の校庭の草取り清掃を学童と一緒に実施し、世代間交流兼ねて行っています。

## 世代間の交流をの積極的におこなっています

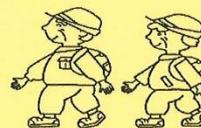
- 高齢者の知識や経験を生かして、大勢の人が集まる「ふれあい広場」などのイベントには、昔から作って遊んだ竹トンボや風車を子供たちに教え、一緒に遊んでいます。
- 放課後児童教室にも出かけて地域の生活文化を教えるなど社会教育にも取り組んでいます。
- 登下校時、児童の安全を確保するため、見守り活動を行っています。
- 幼稚園、保育園へ紙芝居道具などを寄付したり、訪問し一緒に遊び交流を活発にしています。

### 子育て支援、 次世代教育への参加



# 清水町シニアクラブ

## 会員募集



～おおむね 60 歳から、どなたでも入会できます～

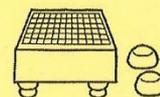
清水町シニアクラブ連合会は、いきいきと健康に社会生活を過ごす場として最適です。無理なく楽しむ軽スポーツ、地域のために汗を流す奉仕活動、自分の世界を広げる趣味の活動など、幅広い活動を展開しております。

また、生活と地域を豊かにするため、下記のような楽しいサークル活動「シニアクラブ趣味の会」があります。あなたの時間を明るく活気あるものにするため、ぜひ『清水町シニアクラブ』に加入され、共にいきいきとした生活を築いていきませんか？多くの皆様の入会を心からお待ちしております。

清水町シニアクラブ連合会 会長 池谷 穰治

### シニアクラブ「趣味の会」のご案内

| 活動日 | 部会名    | 活動時間                       |
|-----|--------|----------------------------|
| 火   | 第1・3   | 手芸部 10:00 ~ 15:00          |
|     | 第1     | ノルディックウォーク部 9:30 ~ 11:30   |
|     | 第2・4   | 舞踊部 9:30 ~ 15:00           |
| 水   | 毎週     | 囲碁将棋部 9:30 ~ 15:00         |
|     | 毎週     | いきいきリフレッシュ体操 10:00 ~ 11:30 |
|     | 第1     | 俳句部 10:00 ~ 15:00          |
|     | 第2・4   | トーンチャイムスピカ 13:30 ~ 16:00   |
| 木   | 第1・2・3 | フラダンス部 カトレア 9:00 ~ 12:00   |
|     | 第2・4   | レクダンス部 13:30 ~ 15:00       |
|     | 第2     | 古典を学ぶ 10:00 ~ 11:30        |
| 金   | 第1     | 伝承あそび部 13:00 ~ 15:00       |
|     | 第3     | ウォーキング部 8:00 ~ 17:00       |
|     | 第2・4   | 着物リフォーム部 10:00 ~ 15:00     |
|     | 第2・4   | 民踊部 13:30 ~ 15:00          |
| 土   | 第1・3   | 歌謡部 9:20 ~ 11:20           |
|     | 第2・4   | ボケない劇団 13:00 ~ 16:00       |



※「趣味の会」への入会を希望する方は、お住まいの地区のシニアクラブへの入会が必要となります。下記事務局までお問合せください。

### 《シニアクラブに関する問合せ》

『清水町シニアクラブ連合会事務局』 清水町福祉センター内 ☎981-1666